第５号

# 稲作管理特報

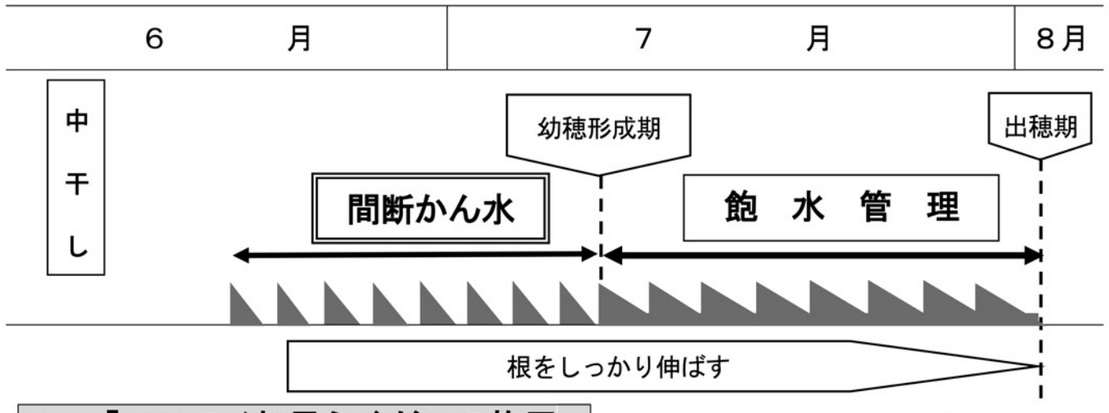
平成２９年　６月　９日
入善産米品質向上対策本部
黒東地域農業技術者協議会

**水稲の生育は、気温が高めに推移したことから、平年より2日程度早く、茎数は並みから多めとなっています。**
**ほ場による生育ムラがみられますが、中干しは遅れずに行いましょう。**
**また、中干しが終了したら、「間断かん水」に切替え、根の伸長を促すとともに、水分不足にならないように管理しましょう。**

## １　「中干し」以降の水管理

中干し終了後、幼穂形成期までは、１日湛水、２～３日落水の「間断かん水」で、水分と酸素を与えることで、根の伸長を促しましょう。
幼穂形成期以降は、飽水管理（足跡に水が残る程度の状態になったら、入水して、土が水分不足にならないような管理）を行い、稲が水分不足にならないようにしましょう。

**【水管理のイメージ図（コシヒカリ）】**




## ２　「エスアイ加里らくだ」の施用

県内の水田土壌で不足ぎみの「カリ」及び「ケイ酸」分を補給し、稲の受光体勢の改善と下葉の枯れあがりを防ぎましょう。

施用時期：６月２０日～２５日頃
施 用 量：１５ｋｇ／１０ａ

各地区担当営農指導員、　JA みな穂営農センター℡ 74-2440　　新川農林振興センター 農業普及課　℡ 52-0094

**「間断かん水」で根をしっかりと伸ばし、夏の高温に負けない稲づくりを！**

## ３　後期除草剤の散布

**○ヒエだけの場合**

・**クリンチャー１キロ粒剤**（湛水してから散布する）
【田植後　７日～ノビエ４葉期（収穫３０日前まで）】（散布量：1kg／10a）
【田植後２５日～ノビエ５葉期（収穫３０日前まで）】（散布量：1.5kg／10a）

**○ヒエ・広葉雑草が両方とも残っている場合**

・**アクシズＭＸ１キロ粒剤**（湛水してから散布する）　（散布量：1kg/10a）
【田植後７日～ノビエ４葉期（収穫４５日前まで）】
※中期除草剤として使用した場合は、散布できません（本剤の使用回数：1回）
・**サンパンチ１キロ粒剤**（湛水してから散布する）　（散布量：1kg/10a）
【田植後１５日～ノビエ３．５葉期（収穫６０日前まで）】
・**フォローアップ１キロ粒剤**（湛水してから散布する）（散布量：1kg/10a）
【田植後１５日～ノビエ５葉期（収穫６０日前まで）】

**○広葉雑草だけの場合**

・**バサグラン粒剤**（落水してから散布する）（散布量：3～4kg/10a）
【田植後１５～５５日（収穫６０日前まで）】
※雑草が局部的に多発生している部分へのスポット処理も可能です。
※晴天日を選んで散布する。また散布後３～４日程度は入水しない。

## ４　草刈り作業による農作業事故の防止！

草刈り作業時の農作業事故が多発しています。雑草地や傾斜地等での作業の際、怪我や転倒などによる事故に注意してください。
草刈機の点検は、必ずエンジンを止めてから行いましょう。
また、こまめな休憩と水分を十分に取り、熱中症や日射病を防ぎましょう。

**※ほ場に残っている補植用の苗は、いもち病の発生源になるので、速やかに処分してください。**
**※斑点米カメムシ類の住みかとなる雑草地や畦畔の草刈りを行いましょう。**

◎ みらーれＴＶで、農業情報番組「あぐりアイ新川」放送中！（9:55、13:55、17:40、23:55）
◎ ＮＨＫラジオ第一で、「農作業メモ」放送（月～金の 11:50～12:00 のうち１分間。祝祭日を除く）